



第65号
発行所 北浦村役場
北浦村大字山田
発行人 北浦村長 高柳庄次郎

本村の人口
男 5,843
女 6,295
計 12,138
世帯数 2,224

議会レポート

去る十二月二十三日第四回定例会が開催され、議案四件が可決された。

▽専決処分報告について
茨城県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正する規約について専決した処分を議案に報告し承認を得た。これは小川町外六ヶ町村関係職員組合、日立太田東海環境衛生組合、竜ヶ崎市外六ヶ町村関係職員組合の三組合より申込があったので、組合加入を認め、先に設置されている規約に追加したものである。

▽専決処分の報告について
茨城県市町村消防団員公務災害補償組合規約について専決処分した報告のことです。

このことは災害補償組合定款に信じます。

暫らく後進性に甘んじていた地方も、度々開港の脚光をあびて交通関係につきましても、鹿島港の建設ならびに、工業整備特別地域の指定などにより益々活発となり、又、鹿島港と共々常磐高速自動車道路の実現見通しも明るく、更に馬渡、札間の北浦架橋、水戸佐原間の完全舗装も関係市町村と共に積極的に押し進め、実現に邁進する所存でございます。

村内道路を整備して産業の開発をはかることは、村行政の基盤であること、信じて、果実、その栽培は農業、畜産の奨励育成等を通じて農家所得の増進を図ることは、私の痛感するところである。

又、農業協同組合の統合による経営合理化と事業拡大も急務と存じます。更には、商工会の強化育成を通じて商店街の活発な繁栄をはかる事も緊急を要する問題であります。本村の今後の躍進を続けるためには、まだまだ山積された問題があります。昔よくいわれた言葉に「十年一昔」と云うことがありますが、現在では「五年一昔」といって表現されるほど変化が激しくなりました。

私も前任者の樹られた輝かしい基盤の上に立って、全村民の皆々と共に深重な計画と、勇気ある行動をもって昭和四十九年を迎えました。本年もよりよく御協力とご鞭撻をお願いして年頭のご挨拶といたします。

年頭の御挨拶

村長 高柳 庄次郎

明けましておめでとうございます。村民各位の絶大な御支援により村長就任後初めての新春を迎えてここに、謹んで皆々様の御多幸をお祈り申し上げます。

本年も昭和三十年の統計以来十周年を迎え躍進を遂げてまいりました。誠に御同慶の至りでございます。ことに教育施設につきましては、さきに中学校の統合により、近代的教育の成果も美にめざましいものでございます。更に津澄小学校の統合は、画期的事業であると共々、教育優先を誇る本村に、一段の光彩を添えるものと

津澄小学校第一期工事 上棟式挙行される

去る十二月二十三日北浦村管内の工事現場において、津澄地区の区長会が起工となり、地元住民、議会議員、教育委員、PTA関係者の協力を得て、盛大な上棟式が挙行されました。

この工事は地元の高橋建設株式会社の請負で、鉄骨ブロック、一階建て、アルミ瓦葺き、二四〇坪、八教室を建設するものです。

工費一千二百余万円の近代的小学校舎の落成も間近となりました。

北浦村一周駅伝

このほけ村体育協会役員会では来る一月十一日土曜午前十時より一月十二日土曜午前十時より北浦村一周駅伝大会を実施することになりました。参加予定者は次のとおりです。

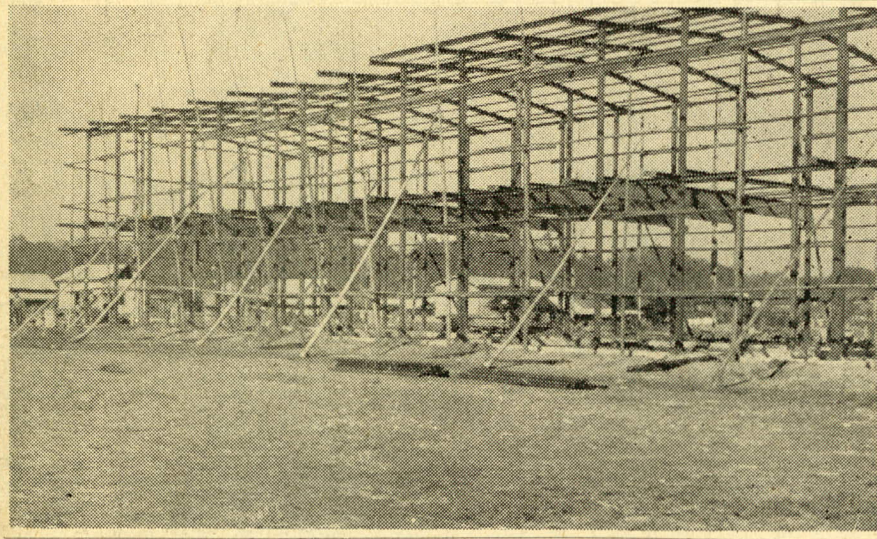
○北浦中Aチーム 同Bチーム
○北浦地区青年代表 津澄地区青年代表 武田地区青年代表
○北浦中職員チーム 小学職員連合チーム 役場職員チーム
○羽生製作所チーム 計九チーム
○コースは役場前出発 小舟津、岡宿、大木、小貫、行戸、小幡、北浦、山田、山田を経て、役場前ゴールで二、八キロを走り、水利権にいたるまでです。

小さな問題でも、放っておくといふのまにか大きくなってしまふ。本年から七区間に改めたことは、一区間の距離を短縮して走者の負担を軽くし、気軽に参加できるようにしたものです。

今月の納税

村民健康第四期と国民健康保険税第四期の納入月です。

各公民館へ出張徴収は一月三十日(木)三十一日(金)午前八時三十分より午後四時までです。よろしく御協力下さい。



冬の農地相談室

一月十七日役場で、ことしもまた県内各地で農地相談室を開室します。

この相談室は、農地のことならなんでも相談に応じるといふ、たいへん幅広い性格を持っています。たとえば耕作権を中心としたものから、売買、贈与、そして相続関係の協力を得て、盛大な上棟式が挙行されました。

北浦歌壇

▽短歌 俳句集
○兼題 短歌「初春」
俳句「梅」
俳句「当季又は無季」
○用紙 官製はがき
○〆切 一月十日
○宛先 北浦役場広報係
北浦短歌会歌集

(十二月二十日北浦役場で) 兼題(当季雑詠) 互選高橋満天 4 農取交際の日記やあかされる 堀 ひろし

3 初西風や白魚舟も帆八分 辺 夕々 2 批判する子たしなめる老煙煙 森崎 静雨 3 龍の縁ふ窓より遠き夕焼

昭和38年度中学校 卒業予定者進路希望状況

38.11.1現在
この調査は行方郡内の12の中学校の昭和39年3月末卒業予定者を対象に調査したもので(2)の県内県立高校進学希望者等については不完全な調査であるが、参考までにお知らせします。

卒業予定者数 2,020人 男1,005人 女1,015人

1. 進学希望者			
区分	男	女	計
全日制	538人(53.5%)	601人(59.2%)	1,139人(56.4%)
定時制	3人(0.3%)	2人(0.2%)	5人(0.2%)
計	541人(53.8%)	603人(59.4%)	1,144人(56.6%)

2. 就職希望者		
区分	県内	県外
男	191人(19.0%)	224人(22.3%)
女	151人(14.9%)	222人(21.9%)
計	342人(16.9%)	446人(22.1%)

3. その他		
区分	男	女
	49人(4.9%)	88人(3.8%)

4. 内容分析
①県外学校進学希望者数
千葉県 高等学校 全日制 男15人 女9人 計24人
②県内県立高校進学希望者(全日制)

区分	男	女	計
日立工	1人	人	1人
水戸一	1		1
水戸二		1	1
水戸商	2		2
鉦田一	43	18	61

区分	男	女	計
鉦田二	101	101	202
玉造工	101	102	203
麻生	228	447	675
潮来	88	325	413
鹿島	40	41	81
土浦一	9	10	19
土浦二		2	2
土浦工	1	1	2
石岡一	7	7	14
石岡二		11	11
石岡商	2	2	4
計	523	592	1,115

③ (定時制)			
区分	男	女	計
麻生定時制	3人	2人	5人

④就職希望状況						
区分	内	県	外	計	内	外
農林業	96人	34人	130人	1人	人	1人
水産業	1		1			
運輸業	4		4	9	2	11
通信業	11	12	23	22	42	64
小売業	4	15	19	17	23	40
サービス業	5		5	12	1	13
建設業	28	18	46	152	143	295
製造業	18	49	67		3	3
修理事務	24	22	46	10	8	18
その他		1	1			
公計	191	151	342	224	222	446

5全体比率		比率
進学希望者(全日制)		56.4%
〃(定時制)		0.2
県内就職		16.9
県外就職		22.1
その他		4.4
計		100.0

鹿鹿(福寿草) 互選高橋満天
4 清倉の窓に静けし福寿草 根本富美子
4 白ひげに霞を受け笑顔福寿草 川島住秀子
3 福寿草老村長の車ひく 高橋満天
3 売られ来て福寿草他郷のつばみ 谷口喜次郎
3 幸の芽吹も金に福寿草 小峯その子
2 粉がらを焼いて今年秋終る 椎名 時雨
2 冬風や遅々と動かぬ漁り舟 高橋満天
2 唯会釈だけ過ぎ行く防風具 根本富美子
2 吾子生るうれしきと煤かき手 雪の季節は思案し 森崎 静雨
3 龍の縁ふ窓より遠き夕焼 高野三千春

た神ごうしけれ真白紙たれ 勇
(同宿) 境
珍重花昨日の花は赤い花白咲 水
かす今朝の大雪
物価値上げも何処吹く風の 空の高さに鏡が鳴る ちぢむ日脚に追いつけられ 雀忙しいこれ初
(同宿) 石橋 不朽
云えぬ心その縁に ふれて乱れる愛の糸 燃えだす燃え散るだけ散って 今朝は銀杏の気転るさ (鉦田) 海老原夢月
街灯の光に映えて降る雪の 更けしつみゆく窓越に雪の 内宿 高柳 唯子

